

# アレルギー児対応給食等提供マニュアル、及び誤食対応マニュアル

すこやかこども園

1 取り組みプランに基づき給食を提供する。

2 給食提供までの流れ

チェック回数	期日	担当	作業内容	確認内容
1	前日 11時	管理 栄養士 職員	前日の打ち合わせ時 ・離乳食担当者が『離乳食・アレルギー食を作るための書類』を作成。 ・離乳食担当者が、読み上げて周知するとともに、アレルギー対応個別献立表が反映されているか、成分表を確認しながら全員でチェックする。	・アレルギー対応個別献立表を全員分確認する。 ・成分表の確認をする。
2	前日 夕礼	給食 担当者	翌日のアレルギー食の確認	・アレルギー対応個別献立表を全員分読み上げる。
3	当日 朝	副園長	ワゴンに「アレルギーあり」の札を掛ける。 給食・おやつ	・当日のアレルギー食の有無について確認する。
4	当日 朝	給食 離乳食 担当者	離乳食・アレルギー食を作る。 ・離乳食担当者がトレイ・食器をアレルギー児用に変えて、食札を付ける。	・アレルギー対応個別献立表を全員分確認する。
5	当日 ワゴン 積込時	給食 離乳食 担当者 ・ 給食員	ワゴンへの積み込み ・離乳食担当者が、必ず別の職員と共に、『離乳食・アレルギー食を作るための書類』を読み上げる。 ・ワゴンの上から2段目へアレルギー児対応食を積み込む。	・ワゴンに「アレルギーあり」の札がかかっているか確認する。
6	当日 配膳時	配膳者	配膳前に、アレルギー児用の献立表を複数で読み上げる。 ・配膳者が、確実に配膳する。	・ワゴンに「アレルギーあり」の札がかかっているか確認する。
7	ワゴンから配膳までの流れ	配膳表への記載者	①ワゴンから受取 ・大ワゴンもしくは小ワゴンから、食材を保育室に受け取った人の名前を記載 ②盛り付け ・アレルギー児の盛り付けをした人の名前を記載 ③アレルギー児へ配膳 ・アレルギー児へ配膳した人の名前を記載	・①②③それぞれが、間違いがないか札で確認をする。  ※配膳表は、対象児に合わせて作成する。
8	当日 食べる時	保育者	本日の献立を読み上げる際に、アレルギー児のものを用いて行う。	・最終確認を行う。

9	給食終了 ワゴン 返却後	給食員	・返却ワゴンに掛けてある「アレルギーあり」の札を、おやつトレイに乗せる。	・おやつのアレルギー対応を確認し、「アレルギーありの札」がおやつトレイに乗っているか確認する。
---	--------------------	-----	--------------------------------------	---

### 3 園用意おやつ提供までの流れ(節分・駄菓子屋などの園行事で提供する場合)

チェック回数	期日	担当	作業内容	確認内容
1	行事 打合せ時	行事 担当者	・アレルギー対応児の把握	・アレルギー対応個別献立表を全員分確認する。
2	準備期	行事 担当者	・業者にアレルギー対応の確認 ・保護者に対応の確認してもらうよう担任に依頼 ・アレルギー用の菓子を提供する場合は、別に袋詰めし、分かりやすく表示する。	・保護者と担任への確認
3	当日	担任	・当日食べる場合は、アレルギー対応のものを提供する。	・当日提供する食材について、担当に確認しておく。

※R6.1作成 R7.5改訂

## 誤食等対応マニュアル

### 1 アレルギー食材を口にしてしまった場合(誤食)

- ① 口に含んでいる場合はすぐに吐き出させ、うがいができるお子さんは口をゆすぐ。
- ② 手で触ってしまった場合は、流水で洗い流す。
- ③ 園長もしくは副園長、看護師に連絡する。
- ④ 保護者に連絡を入れ、現状を伝える。
- ⑤ 全身状態を確認する。
  - \*皮膚の症状(かゆみ、蕁麻疹、赤くなる)
  - \*口の症状(口の中の違和感、唇の腫れ)
  - \*目の症状(かゆみ、充血、まぶたの腫れ)
  - \*呼吸器の症状(声のかすれ、喘鳴(ゼーゼー、ヒューヒュー)、咳、呼吸困難)
  - \*消化器の症状(腹痛、吐き気、嘔吐、下痢)
  - \*鼻の症状(くしゃみ、鼻水、鼻づまり)
  - \*ショック症状(意識がない、ぐったり、唇や爪が青白い)
- ⑥ 15分は目を離さず観察する。その後は10分おきに観察する。
- ⑦ 特に症状が見られない場合は経過観察とする。

☆アレルギー症状の発症が確認された場合は、アレルギー時の役割分担を参照